

連載

Withコロナの中で新たな取り組みを行うクラブ

特定非営利活動法人おおしまスポーツクラブ ＜富山県射水市＞

世界中で甚大な被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症による影響は計り知れません。クラブが受ける影響も大きく、各クラブで試行錯誤している状況にあります。少しでも全国のクラブの力となるよう、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら、新たな取り組みを行うクラブについてご紹介いたします。

1 クラブ概要

年間多数のイベントを開催、「イベントのおおしま」と称される

NPO法人おおしまスポーツクラブは、富山県のほぼ中央に位置する射水市で活動しています。平成16年から公認クラブマネジャー資格を有する7名が中心となり、2年の歳月をかけて、平成18年2月にクラブを設立しました。

当クラブの特徴は ①教室、②イベント、③トレーニング施設「まびいあ」を3本柱とし、プログラムの充実を図るべく、企画・運営に力を入れています。中でもイベントは、登山、キャンプ、スキーなど年間20本以上のイベントを企画・開催しており、当クラブを知っていただくきっかけにもなっています。

コロナ禍で昨春2か月活動休止、6月に再開し徐々に活気も

会員数350名でスタートした当クラブも、平成31年度には約1500名の方々にご利用いただけるクラブに成長しました。より多くの方々に利用していただくべく新しい企画を計画していた矢先に、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年4～5月の2か月間、やむなく活動休止となりました。不安な日々を過ごしましたが、幸い他県に比べると感染者の人数も少なく、感染症対策を万全に講じながら6月には活動を再開し、徐々に活気を取り戻しています。



トランポリン教室



トレーニング施設「まびいあ」

2 withコロナでの活動を実現するために

徹底した換気と消毒 教室の人数制限も

当クラブの感染症対策は、国、県、市および各競技団体のガイドラインに沿って行っており、徹底した換気に力を入れています。冬場は寒いとご意見をいただくこともありましたが、常に窓や扉を開け、1時間に1回、10分間大きく開放しながら換気を行い続けました。さらに、徹底した消毒を会員の方にもご協力いただくとともに、利用した機器の拭き取りに使うタオルの小まめな取り換えなどに努めました。参加者の多い教室は人数制限をするなどの対応も行ってきました。

射水市が支援事業補助金を創設 コロナ禍でも大アリーナでイベント開催

射水市では、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い指定管理者施設の利用者が急激に落ち込んでいる状況を踏まえ、施設の利用促進につなげようとアフターコロナ、ウィズコロナを見据えた「射水市指定管理者制度導入施設アフターコロナ対策支援事業補助金」が創設されました。

当クラブでは、同補助金を活用し何かできることをしようと、「クリスマスフィットネスフェスティバル」を企画・開催しました。イベントの主旨や内容を広く広報したおかげで、当日は多くの方に来館いただき、このコロナ渦の中、十分な成果が出た事業となりました。

なお、参加者には入館時に検温、健康チェックシート（氏名、連絡先、体調の自己チェック）をレッスンごとに記入していただくなどのコロナ対策を取りました。

今回補助金で購入させていただいた備品などを活用し、来館率向上や新規会員獲得のために、今後も定期的に関行していきたくて考えています。

【実施内容】

新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上で、富山県内有名インストラクターによる特別レッスンの実施

※ 通常は収容人数30～40名程度のスタジオでレッスンを行っていますが、特別レッスンとして大アリーナ(収容人数700名程度)で、昼の部3本、夕方の部3本、一日を通して計6本実施。ソーシャルディスタンスを十分に確保し、安心して運動できるよう配慮しました。

※ また、外部の人気インストラクター3名を招くとともに、県内の主要体育館にポスターやチラシで広報活動を行いました。



クリスマスフィットネスフェスティバルのチラシ
最下部には各種ガイドラインに沿って
感染拡大防止を行っている旨を記載



クリスマスフィットネスフェスティバルの様子

3

コロナ禍での活動で生まれた効果と反響

認知度と施設利用率の向上を狙って企画→参加者に大好評

会員の皆さんに、安心して運動を楽しんでいただくことはもちろん、当クラブの認知度を高め、会員の獲得と、施設利用者の増加を狙って企画しました。この時期、民間を含めほとんどのスポーツ施設が手探りで施設の再開をしている中、550名を超える参加者を楽しんでいただき、当初の目的を十分に達成することができました。参加された方々からは、「安心して参加できた」、「思い切り身体を動かすことができ、とても楽しかった」、「これからも開催してほしい」など、たくさんの「嬉しい声」を聞くことができました。

今後は定期的な運動・イベント機会を継続して提案を

コロナ対策に関しては、いままで同様、徹底した換気・消毒を行い、万全な感染症対策を講じながら、体力や免疫力を高めることの重要性を訴え、定期的な運動やイベントの機会を継続して提案していきたいと思います。

【今後の具体的なイベント内容】

6/13(日)	上高地ゆっくりハイキング/焼岳登山	
6/20(日)	初夏のヨガフェス	
7/25(日)	夏休み立山登山	
8/7(土)～8日(日)	憧れの富士登山	
8/7(土)～9日(月祝)	夏休みアドベンチャーキャンプ2021	
12/27(月)～28日(火)	冬休みスノーキャンプ2021	他



2019年に実施した夏休みアドベンチャーキャンプ

4

新たな取り組みに挑戦、クラブ存続に尽力

射水市の行財政改革の取り組みの中で、「主要体育館の在り方の検討」が話し合われています。当クラブが指定管理を受けている体育館もその中の1つに含まれており、今後生き残りのために、コロナ禍であってもこれまで以上の利用者の増加や、新たな取り組みに挑戦していかなければいけません。スポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な取り組みを展開し、地域になくてはならない存在として、役割を果たしていきたいと思っています。

地域の受け皿として柔軟に対応したいー学校部活動

また、スポーツ庁の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」では、令和5年度以降の休日部活動が段階的に地域移行される方針が示されました。地域の受け皿として、私たちの「総合型地域スポーツクラブ」が期待されており、課題は山積みではありますが、時代の変化にも柔軟に対応できる、そんなクラブでありたいと考えています。

(NPO法人おおしまスポーツクラブ 副理事長 中澤 朗子)

クラブプロフィール

設立年月日 平成18年12月26日(平成19年4月2日法人登記)

所在地 富山県射水市

運営 会員数850名(令和3年5月現在)

特徴

- ① 教室(幼児対象のダンスやトランポリンから高齢者対象のおわら踊りや弓道教室など45本)
- ② イベント(大人から子どもまで楽しめる、登山、スキー、キャンプなど20本)
- ③ トレーニング施設「まびいあ」(トレッドミルやエアロバイク、スミスマシンやピナクルトレーナーなど、最新機器が40台。自主運営のジム)

連絡先 〒939-0284 射水市新開発300ヨシダ大島体育館内

TEL 0766-52-7719 FAX 0766-52-7719

URL www.oshima-sc.jp

E-Mail ooshima-sc@po9.canet.ne.jp